

第4回伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会 会議録

開催日時	令和3年8月24日（金）11：00～11：50
開催場所	伊賀市役所5階 会議室501
出席者	<p>【伊賀市】</p> <p style="padding-left: 2em;">岡本 栄（市長）</p> <p style="padding-left: 2em;">大森 秀俊（副市長）</p> <p>【笠置町】</p> <p style="padding-left: 2em;">中 淳 志（町長）</p> <p>【南山城村】</p> <p style="padding-left: 2em;">平 沼 和 彦（村長）</p> <p>【山添村】</p> <p style="padding-left: 2em;">森 中 利 也（村長）</p> <p style="padding-left: 2em;">政 辺 範 泰（副村長）</p> <p>【事務局】</p> <p style="padding-left: 2em;">藤 山 善 之（伊賀市企画振興部長）</p> <p style="padding-left: 2em;">風 隼 徳 彰（伊賀市企画振興部次長）</p> <p style="padding-left: 2em;">中 矢 裕 丈（伊賀市企画振興部総合政策課長）</p> <p style="padding-left: 2em;">竹 森 昭 治（伊賀市企画振興部総合政策課主幹）</p> <p style="padding-left: 2em;">内 田 達 也（伊賀市企画振興部総合政策課主任）</p> <p style="padding-left: 2em;">田 中 逸 代（伊賀市企画振興部総合政策課主任）</p> <p style="padding-left: 2em;">森 本 貴 代（笠置町総務財政課担当課長兼会計管理者）</p> <p style="padding-left: 2em;">井 上 浩 樹（南山城村企画政策課長）</p> <p style="padding-left: 2em;">橋 本 昌 貴（南山城村企画政策課課長補佐）</p> <p style="padding-left: 2em;">井久保 幸 男（山添村地域振興課長）</p>
欠席者	
会議概要	<p>1. 開会</p> <p>（事務局）</p> <p>お待たせいたしました。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、第4回伊賀・山城南・東大和定住自立圏、（略称）伊賀城和定住自立圏推進協議会を始めさせていただきます。</p> <p>私は、議事に入るまでの間、進行をさせていただきます、伊賀市企画振興部次長の風隼でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、この会議については、運営規程で原則公開とし、会議の傍聴を認めておりますことから、本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等をあらかじめ許可しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

2. あいさつ

(事務局)

まず、はじめに当推進協議会の会長であります、伊賀市長 岡本栄よりごあいさつ申し上げます。

(岡本会長)

本日は多事多端な中、お集まりいただきましてありがとうございます。

この伊賀城和定住自立圏は今年で6年目を迎えることとなりました。本当に色々と皆様方にはご助力賜りありがとうございます。これまでも圏域の活性化や暮らしの安心を支える事業に取り組んできました。今般の新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みにおいては、昨年度「圏域証」を発行し、我々は1つの行動圏、経済圏、文化圏であるということで、圏域住民の皆さんがこれまでどおり安心して往来できるよう取り組んだところです。また、こうしたことについては中央政府の方にも注目いただいたということもありました。

「共生ビジョン」につきましては、今年度で計画期間の最終年度を迎えます。この後の議題となっております「第2期共生ビジョン」について、各部会において4市町村の担当で検討を進めているようです。様々な連携事業を通じて、これまで以上に結びつきを強め、住民の皆さんが幸せを実感できるような圏域になればと思っています。

今日の議題は3件となっております。おって宜しくご審議賜りますようお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

それでは、推進協議会規約第8条により、会議の議長は会長があたるとなっておりますので、以後の進行につきましては、岡本会長をお願いいたします。

3. 議事

(1) 副会長の選任について

(2) 2020(令和2)年度 of 取組状況について

(3) 第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン(素案)について

(岡本会長)

それでは議事に入らせていただく。

まず一つ目の事項(1)「副会長の選任について」

当協議会の副会長については、推進協議会規約第7条の規定により、「副会長は毎年度、最初の会議で会長が指名する委員をもって充てる」ということになっているので、

本年度は「森中山添村長」に副会長にご就任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

—異議なし—

(岡本会長)

ありがとうございます。森中村長、よろしく願いいたします。

なお、来年度以降についても、笠置町、南山城村の順番でご就任いただきたいと思います。

(岡本会長)

それでは続きまして、(2)「2020(令和2)年度の主な取組状況について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)(竹森)以下の資料により説明

★資料1「2020(令和2)年度の主な取組状況」

(岡本会長)

説明が終わりましたが、ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

(森中副会長)

先ほどは副会長に選任いただきありがとうございます。一生懸命努めさせていただきたいと言いたいところですが、残念ながら私は9月2日までの任期です。今、村においては3人の村長立候補予定者がおられます。その中でどなたが後任になるかわかりませんが、当選後の村長につきましても今まで同様によろしくご指導いただきと思っています。どうぞよろしくお願いします。私は就任してから4年ですが、当時岡本市長から定住自立圏のお誘いがあり喜んで入らせていただいた。そのような中で、様々な施策をしていただいたところで、特に山添につきましては、24時間体制の医療相談を利用させていただいた件数がこれまでに24件あったと聞いています。そうしたことで村民の方から伊賀市長さんにお礼の手紙を出したところ、そういう手紙が届いたと市長さんから私のところに連絡をいただきました。それとコロナの関係では、山添村、伊賀市、笠置町、南山城村は隣接するので、住民が行き交う中で県域を越えて来ているということで嫌がらせをされるということがあったが、いち早くステッカーを作っただき、そのようなことが無いようにしていただいた。本当にありがとうございます。どうぞこれからもよろしくお願いします。ありがとうございました。

(岡本会長)

ありがとうございました。ご丁寧なご意見を賜りました。

その他、何かございますか。

それでは、特に無いようですので、以上で議事（２）「2020（令和２）年度の主な取組状況について」の協議を終わります。

次に、事項（３）「第２期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（素案）について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) 以下の資料により説明

★資料２-１「第２期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（素案）」

★資料２-２「第２期共生ビジョン取組事業新旧対照表」

★資料３「策定スケジュール」

(岡本会長)

説明が終わりましたが、ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

(岡本会長)

私の方から、事業 NO. 2311「道路整備事業」について、次期ビジョンでは「廃止」ということで、各府県において当然、要望等行っているわけだが、しかしながらそれぞれの府県で行うだけでなく、私どもの圏域として１市１町２村の４者で、例えば国に行く時にもそういう組み合わせで必要なところをまわることは、ある種インパクトがある。府県単位だとそれぞれの地域のことしか言わないわけで、やはり我々のところは１つの圏域だということやっていく必要がそういう意味ではある。単純に「廃止」というのはいかがなものかと思うが、みなさんどうでしょうか。

(事務局)

資料２-２を見ていただくと、事業 NO. 2311「道路整備事業」が「廃止」になっていて、それぞれ府県で同盟会を結んでやっているということで、定住自立圏の枠組みの中で取り組みとしてあえて載せないということが部会の意見だった。同様に、事業 NO. 1612「河川整備事業」も同盟会があり、別の枠組みの取り組みが進んでいるということがあり、部会としては「廃止」という書き方になっている。それから、先ほどの説明にもあったように、事業 NO. 1311 で高校進学の問題についてもトーンダウンの形になっているが、これらは部会として取り組むということになると、進行管理をしながら毎年取り組みとして追いかけるのは中々厳しい部分があるかと思うが、圏域としては、当然力を入れて一緒になって取り組まないといけないことだと思う。そ

れを踏まえて資料 2-1 の 21 ページを見ていただきたい。各部会単位での取り組みとして考えるのではなく、発想を変えて 21 ページの前段にも書かせていただいたとおり、この圏域が 3 つの府県を跨いでいるという特色、さらには東海圏・関西圏というブロックも跨いでいるということで、それらの特性をいかしながら広域的な活動を分野にとらわれず、部会としての取り組みとして進めて行くというよりも本圏域全体の取り組みとして積極的に広域的な働きかけをしていきたいというイメージで受け取っていただきたい。

(岡本会長)

部会については事務方の話で、進行管理等は大きな課題になってくるのだろう。しかし、我々の地域は 1 つのエリアで文化圏や経済圏や行動圏を作っているわけで、それについて俯瞰的、大局的にもものが言えるのは首長たちだから、そういう意味では道路にしても河川にしても教育にしても、私たちが国、府県に対して訴えることがこれからますます重要になってくるので、それを「廃止」というふうに書かれるということは根拠を失うことになるので困る。我々はそういうことをするために作ったわけだから、目先のことの難しさで廃止にはしないでほしいと思うが、各首長さんいかがか。

(平沼委員)

南山城村の平沼です。いつもお世話になりありがとうございます。道路については 1 本の道が県を跨いで続いている。少し外れるが、うちで問題になっていることで、今、奈良市さん側に向けて道路を付けているが奈良市さんまでの終点の 300 メートルの区間がお互いに協定ができておらず、そこだけ中々拡張ができないという問題がずっと続いている。同じように三重県の方に対しても、村道、府道が三重県に入った時に狭くなるということもあるので、1 本の道の連続性を考えたら、そういったことで訴えていくということが必要だと感じている。

(岡本会長)

ありがとうございます。163 号線を見ても府県を跨いでいくが、必要性については変わらないし、やはり一体的なことをしていかなければいけない。このあたりのことは河川についても同じようなことだと思うので、よろしくお願ひしたい。

(森中副会長)

山添村ですが、名阪国道が 60 数年前に開発され、生活道路という思いで、今、無料になっている。何年か前から奈良から名古屋関係の管理に変わり、そのおかげで亀山市さんや伊賀市さんと名阪国道の改良について東京へ陳情にも行かせてもらっている。そういう意味からいうと、多くの方が集まって要望に行かないといけな。せっかく圏域を作ったので、それを最大限に利用していきたい。また、河川についても共

同で要望をしていかないといけないと思うので、その項目を残していただいて、1市1町2村で頑張っていけたらと思う。

(岡本会長)

ありがとうございます。それと教育についても、どちらにも行けるということによって子どもたちの選択肢が広がるということがある。例えば伊賀市だと、あけぼの学園の理容・美容はこの界限ではそこしかないし、白鳳高校だとスポーツも頑張ってもらえるし、建築系の学科はここにしかない。木津川を下るもよし、上るもよしということで、そういう意味では教育についても子どもたちの将来における可能性を担保してあげるということも必要なのかなと思うので、各首長さんからご意見ありましたが、推進協議会からは部会へは根拠を残してほしいということでもよろしく願いしたい。

(中委員)

交通インフラについて、笠置町は町の真ん中を163号線が通っていて、医療の問題、教育の問題、産業振興の問題、防災、関係人口創出というようなところで、西と東の交通を確保するという事で交通インフラの整備は必須のものだと考えている。町としては、163号線全線の通行の確保をしていただきたいという願いをずっとしている。災害があった時に近隣町村からの応援の要請、または避難路の確保の問題があり、町内の国道の問題だけで話はしていない。163号線の全線の通行の確保をお願いしたいという形での要請をしている。「廃止」というのは分からないでもないが、できれば広域的な道路行政ということでこの項目については残していただきたい。

それから河川の問題で、上流域から下流域までにかけてのトータル的な整備がないといけない。伊賀市の圏域だと、服部川の氾濫の情報が入ってきたら笠置でも警報が出るという関係なので、上流域も含めた広域での整備というのは必須だと考えているので、この項目も何らかの形で残しておいていただけたらありがたい。

学校については昔から越境されていた方が笠置にも多くおられたということなので、進学先の選択肢の1つであるということで、そういうことを紹介させていただくということは町としてもありがたいことだと考えている。

(岡本会長)

ありがとうございました。それぞれの首長さんから色々ご指摘をいただきましたので、よろしく願いしたい。

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（素案）については、以上でよろしいか。それでは、この素案をもって、ビジョン懇談会にご意見を聞かせていただきたいと思いますし、今皆さんが仰っていただいたことを参酌していただければと思います。

	<p>以上で議事を終了させていただき、事務局へ進行を戻します。</p>
	<p>3. その他</p> <p>(事務局)</p> <p>それでは、最後に4.その他に入らせていただきます。</p> <p>議事以外の部分で、会議全体を通して、委員の皆さまから、何かご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。</p> <p>(岡本会長)</p> <p>先日伊賀市で職員提案というものがあり、その中で「忍者を切り口にした観光ルート作り」という話があったが、私は面白いなと思った。例えば笠置町さんは「笠置ROCK!」ということで岩登りがありますし、山の景観等そういったところのルートを作って、交流人口増加へそういった共同の事業もやっていけたらいいなと思う。</p> <p>それから圏域証の話があったが、あれは当時急遽作ったものを今も使っているわけだが、これを公募してもう少し映えるようなステッカーを作っていきたいと思う。これも事業に書き込めば財政措置も付くのかなと思うので、それも含めてご意見伺いたい。</p> <p>(平沼委員)</p> <p>村の住民は生活圏が上野の方なので買い物もほとんど伊賀市に行くが、圏域証があって非常に喜んでいる。ただ、圏域証は車のダッシュボードに置いたりするので、ステッカーでバンパー等に貼るような形にしてもいいのかなと思う。まだまだこの状況は続くと思うので、車に貼るだけで安心して伊賀市にも行けると感じる人も多いと思う。</p> <p>(岡本会長)</p> <p>事務局さん、これを事業にするにはどうすればよいのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>具体的な手続きについてはともかくとして、今も皆さんからご意見いただいたように去年この圏域証は急ごしらえで作ったが、圏域のみなさんにとっては生活圏での移動するのに大変助かったという意見をたくさんいただいた。圏域住民のみなさんにも委員として入っていただいているビジョン懇談会の中でも注目していただき、良い取り組みだったと言っていた。作っている時も思ったが、シンボリックなものがないのでロゴマークみたいなものがあればいいなと思いながら作成した。ビジョン懇談会でもそういった意見も出ていて、今、提案があったような公募が良いのか、プロ</p>

に見ていただいて作っていただくのが良いのかということも模索しながら進めたいと思う。

(岡本会長)

いずれにせよ、そういうことを通じて地域を知ってもらう発信のツールにもなると思う。あと、観光のルート作成は部会の事業で入れられるのか。

(事務局)

伊賀市の若手職員から出てきた提案だったので、一旦は部会の方でもんでもらうような形になると思う。情報共有しながら何か実現できるものを見つけていきたい。

(岡本会長)

あとは、伊賀市でお役に立つことがあればと思ひまして、職員の研修等もご希望があるのであれば私たちのセクションでお受けさせていただくことも可能かなと思うので、またお考えいただければと思う。

(事務局)

先ほどの話に戻りますが、ロゴマークのようなものが作れたらと思っているのですが、プロの方に聞いても中々雲を掴むような話で、今、事務局としては「水と歴史でつながる圏域」をイメージしたものができればいいなと思うが、何かそういったことで今すぐではなくていいので、ヒントになるようなことをいただければ参考にさせていただきたいのでよろしくお願ひしたい。

(岡本会長)

月ヶ瀬について、民間では相変わらず密接なつながりがあるが、行政においては全く情報が入ってこなくなった。上野の方に入っていく道の拡幅があるそうだが、その情報が我々の方には全然入ってこず、先ほども道路の話があったがそう意味では道路局への要望を共有するという事は大事だと思う。今後の改善点として、純メンバーではなくても、その地域を対象としたオブザーバー参加をしてもらえないか。奈良市の一部になっても地域の生活圏は変わらないし、お互いにそういう補完関係があるところなのでそんなことも必要なのかなと思う。山添村さんは月ヶ瀬と付き合いがあるのか。

(森中副会長)

月ヶ瀬とは従来から、旧都祁村と3村とって様々な交流をしてきた。中でも月ヶ瀬は山添村と隣接しているので、消防関係等付き合いがあったが、今は合併して奈良市になって情報は薄れてきている。しかし、道路の関係等繋がりががあるので、その関

係で奈良市への陳情の相談があったりしてそれなりに繋がってはいる。

(事務局)

ほか、皆様から何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。